

2016

—第26回

全国学校事務研究集会



蒲郡集会開催要項

集会テーマ

- ・語り合おう子どもの未来！
- ・育てよう民主教育！
- ・つくりだそう私たちの学校事務！！

日程：2016年7月31日（日）～8月1日（月）

会場：西浦温泉 ホテルたつき（蒲郡市西浦町大山25 / TEL 0533-57-5111）

全国の学校事務職員の皆さん！ 新学期を迎え多忙な中での日々のご奮闘に対し深く敬意を表します。安倍政権は、憲法改悪と一体に、教育を子どもたちの成長・発達を保障するものから政権の国家戦略にそった人材育成をめざすものにしようと安倍「教育再生」をすすめています。私たちに、この危険な本質を明らかにし、保護者・国民、教職員との対話や懇談で、憲法に立脚し、すべての子どもの成長・発達を保障する民主教育を前進させるとりくみが重要です。

今年の蒲郡集会は、1990年に和歌山県紀伊見荘でプレ集会を開催して以来、26回目を迎えます。集会では、これまで「学校づくり」「子どもたちの就修学保障」「学校事務職員の任務」等について学習や交流を深めてきました。また、学校で働く仲間の労働条件などの諸要求についても大切にしながら実践やとりくみを積み重ねています。国や自治体が教育政策として押しつけてくる教育改悪、財政悪化を理由にした公務員攻撃に反対するたたかいなどを含め、民主的学校づくりや地域での運動を話し合い、論議する場として位置づいています。

さらに、経験年数や校種を越えて仲間が集い、日頃の思いや悩みを交流し、学習と実践の交流を深め、お互いに元気をもらい明日の運動につなげる絶好の機会でもあります。とりわけ近年では全国から若い仲間が集い、集会を盛り上げています。

すべての子どもたちが安心して学べる権利を保障し、ゆきとどいた教育をすすめるために、大いに語り合いましょう！ ぜひとも多くの皆さんの参加を呼びかけます！

2016年4月20日

全国学校事務研究集会推進委員会・全日本教職員組合事務職員部常任委員会

第1分科会 「学校づくりと学校事務職員の役割」

この分科会では、ゆきとどいた教育と子どもたちを主人公にした学校づくりをすすめるために、学校事務職員が果たすべき役割や職務を明らかにし、学校で働いていることの意義、地域・保護者との協同のとりくみ、また開かれた学校づくりをすすめるための各地の実践と交流を深めるために討論をします。

討議の柱

- ① 民主的な学校づくりをすすめる上での学校事務職員の役割や職務を考える。
- ② ゆきとどいた教育をすすめるための地域・保護者との協同のとりくみを考える。
- ③ 子どもが安心して学べるよう、子どもの要求を実現するための実践などを交流し討論を深める。
- ④ 開かれた学校づくりをすすめるためのとりくみを考える。

レポートのキーワード（参考）

- 民主的な学校づくりと学校事務職員の役割
- 標準的職務内容表と私たちの仕事
- 地域・保護者とのかかわり
- 教育改革と学校事務職員
- 事務室からの発信（地域、保護者、教職員）
- 開かれた学校づくり
- 子どもとのかかわり（子どもアンケートのとりくみ、児童会・生徒会との協同）

第2分科会 「子どもの学習権を守るための私たちのとりくみ」

この分科会では、身近な職場の実践や悩みを出し合いながら「教育費無償」を掲げて子どもたちの未来をどう保障するのか、財政面を中心課題に学校予算、学校徴収金、保護者負担金の問題について、交流し討論を進めます。

討議の柱

- ① 子どもたちや保護者の願いを実現するためにどのように学校財政にかかわっていくべきかを考える。
- ② 学校財政の民主的運営をとおして、どのように学習権を守っていくかを考える。
- ③ 貧困と格差が広がるなか、子どもの学習権を守るとりくみを検討する。
- ④ 教職員の協同による学習権を守るとりくみを考える。

レポートのキーワード（参考）

- 学校徴収金問題
- 保護者負担の実態や軽減のとりくみ
- 学校財政の民主化に向けたとりくみ
- 予算委員会の実践
- 進路保障のための幼・保・小・中・高・特連携

第3分科会 「ゆきとどいた教育をめざす自治体へのとりくみ」

この分科会では、「教育費無償」の基本的理念にたち、子どもの学習権、就・修学権を保障するための、就学援助制度・奨学金制度・教育扶助制度等の拡充に向けた自治体要請や予算獲得運動のとりくみ、ゆきとどいた教育を実現するための多様な実践を交流し討論を深めます。

討議の柱

- ① 自治体財政の悪化や消費税増税、生活保護制度の改悪にともない、就学援助制度・奨学金制度・教育扶助制度等はどうに変化（改悪）しているのか、実態を明らかにし制度拡充の論議を深める。
- ② 教育予算の削減・自治体合併などによる子どもへの支援水準の低下にどう立ち向かうのか（自治体闘争・予算獲得運動等）論議を深める。
- ③ 高校授業料不徴収廃止・所得制限導入に伴い見えてきた状況を的確に把握し、状況や無償教育へ向けたとりくみ、実践について交流・論議を深める。

レポートのキーワード（参考）

- 市町村合併と学校統廃合に伴う教育条件の変化
- 教育扶助制度
- 就学援助制度（認定基準・給付内容・申請方法）
- 情報公開と徴収金の可視化
- 奨学金制度の拡充（給付型の拡充と貸与型のリスク）
- 教育予算増額、無償化への運動

第4分科会 「労働条件、権利を守り、安心して働き続けるために」

この分科会では、職場の労働条件や任用の実態、賃金・人事評価（考課）制度の実態などを交流し、事務の共同実施や教育事務所の廃止、「総務事務（サービス）センター」による集中化・IT化の弊害などを論議します。また、安心して働ける職場づくりや組織拡大などについて、職場や地域でのとりくみを交流し討論します。

討議の柱

- ① 労働条件の実態や公務員制度改悪による影響と課題を議論する（賃金や定数、権利等）。
- ② 政令市・中核市への事務・権限移譲について予想される課題へのとりくみを議論する。
- ③ 職場や地域などで、いきいきとした組合活動の広がりや運動の成果と教訓を交流する。

レポートのキーワード（参考）

- 賃金制度：評価賃金、格付け
- 評価制度：人事評価（考課）制度
- 労働条件：権限移譲、共同実施、総務事務センター
- 労働条件：勤務時間、定数削減
- 労働環境：労働安全衛生
- 権利獲得：休暇等
- 組合運動：組織拡大強化、地域との協同
- 組合運動：若者への働きかけ

スケジュール

10:00～10:30 受付（ホテルたつき）
10:30～11:00 開会集会
11:00～12:30 記念講演

演題「教育における格差と貧困——奨学金から考える」

7/31(日)

講師 大内 裕和 氏

(中京大学国際教養学部教授)

12:30～13:15 昼食&分科会打ち合わせ
13:30～17:30 分科会
19:00～21:00 夕食交流会

8/01(月)

08:00～08:30 受付
08:30～11:00 分科会
11:00～12:00 講座

演題「教育費の無償化にむけて……（仮）」

講師 田中 秀佳 氏

(名古屋経済大学人間生活科学部准教授)

12:00～12:30 閉会集会

参加費及び申し込み方法

【参加費】 4,000 円（7/31：昼食代 1,100 円、宿泊費＜夕朝食費含む＞10,500 円）

【申し込み方法】

① 添付の「参加宿泊申込書」を使い、名古屋トラベルにお申し込みください。

『(株)名古屋トラベル』 FAX : 052-618-7801

② 申込書には、ご出席可能なものに○印をご記入ください。

分科会は、希望する分科会の数字をご記入ください。

③ 分科会は、会場と人数配分の関係から必ずしも希望どおりとならない場合があります。あらかじめご承知おきください。

④ 遠距離からご参加する場合、日程上、前泊が必要となる方もおられると思いますが、海水浴シーズンで土曜日ということもあり宿泊代が高額となるため、斡旋はいたしません。

名古屋市内等の宿泊施設を各自でご確保願います。

第1次締め切り 6月21日(火)、最終締め切り 7月12日(火) 厳守